

報道関係者各位

プレスリリース

2025年12月16日(火)

株式会社マルアイ

【2026年お年玉に関する実態調査】

お年玉をあげる人4割、あげる予定の人数は平均3人

金額は1,000円台から4,000円台が主流

- ・お年玉の渡し方は「現金をぽち袋に入れて手渡す」現金派が多数
- ・年末年始の予定は最多が「自宅でゆっくり」7割弱、旅行などの遠出は1割未満にとどまる

「こころ くらし 包む」をモットーに、さまざまな製品を通じて毎日のくらしに彩りと楽しさを提供する紙製品・化成品メーカーの株式会社マルアイ（本社：山梨県市川三郷町、代表取締役社長：村松道哉、以下「当社」）は、この度、20代以上の男女を対象に【2026年お年玉に関する実態調査】と【今年の年末年始の動向調査】を実施しました。

20代以上の男女2,405名を対象に調査を実施したところ、4割が来年2026年のお正月にお年玉をあげる予定であることがわかりました。そのうち「あげる」と回答した604名を対象に【2026年お年玉に関する実態調査】を実施した結果、あげる予定の人数は平均3人で、あげる相手は自分や親戚の子ども、孫など、「子ども」を中心であることがわかりました。あげる金額は、相手が子どもでも大人でも1,000円台から4,000円台が主流でした。

お年玉の渡し方は、現金をぽち袋に入れて手渡すスタイルが主流で、キャッシュレス決済が普及する今も、依然として現金派が多数を占めていることが明らかになりました。

また、20代以上の男女602名を対象に【今年の年末年始の動向調査】を実施したところ、今年の年末年始は7割弱が自宅でゆっくり過ごす予定であることがわかりました。

【主な調査結果】

①今年の年末年始は「自宅でゆっくりする」が最多の69.6%と7割弱が巣ごもり正月を予定。次いで「親族で集まる」19.1%、「自宅近辺で外出する」16.3%。

②来年2026年のお正月は40.4%がお年玉をあげる予定。

③あげる予定の人数は平均3人。あげる相手は「親戚の子ども」「自分の子ども」「孫（ひ孫）」など子どもにあげる割合が高い。あげる金額は1,000円台から4,000円台が主流。

④来年2026年にあげる予定のお年玉の総額を今年2025年と比較すると「変わらない」が最多の59.9%。次いで「増える」21.2%。

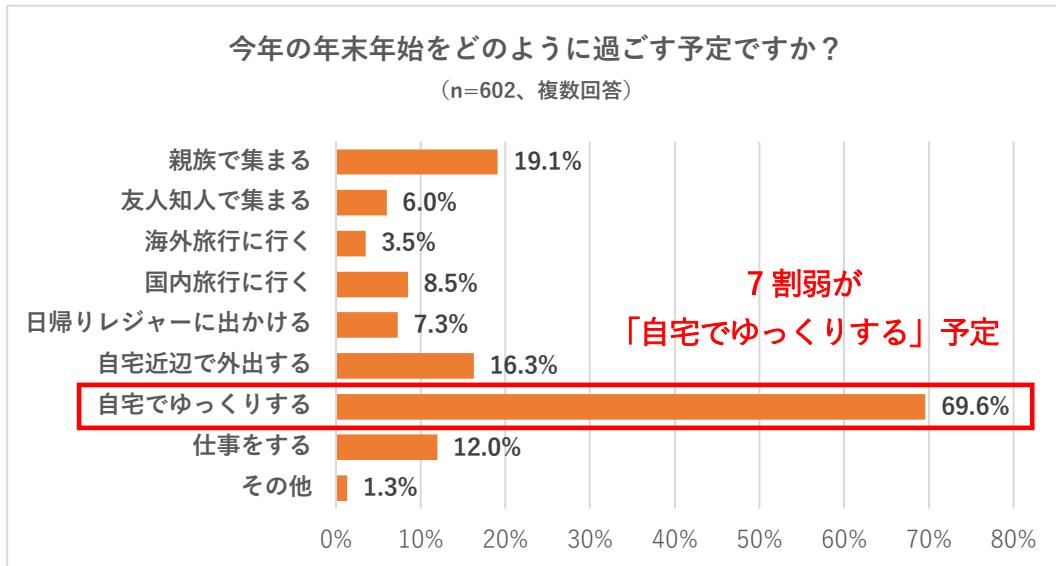
⑤お年玉の渡し方は「現金をぽち袋に入れて手渡す」が最多の77.8%。

⑥お年玉をあげるのは「高校卒業まで」が最多の34.6%。

【詳細】

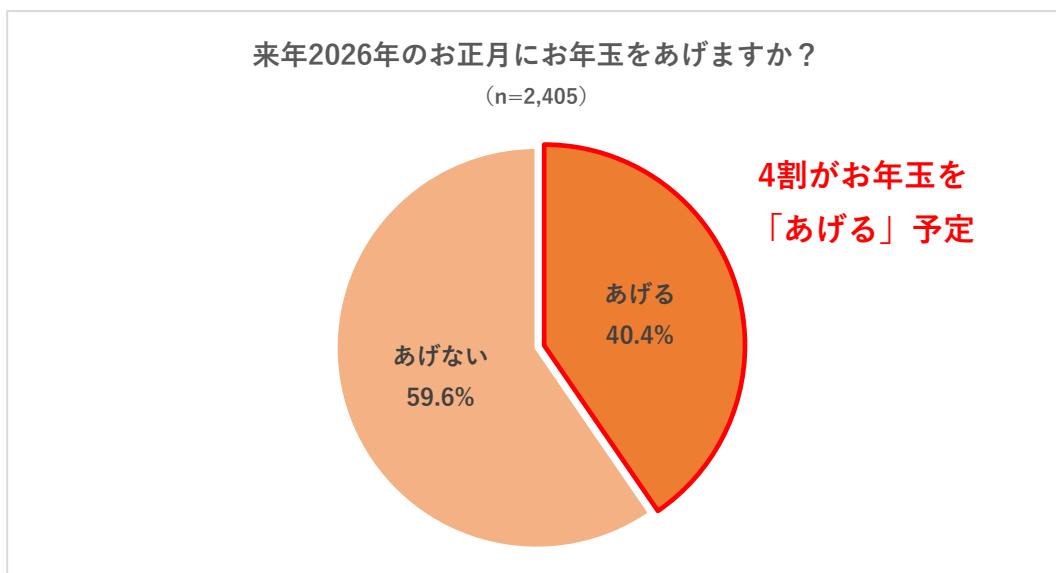
①今年の年末年始は「自宅でゆっくりする」が最多の 69.6%と 7 割弱が巣ごもり正月を予定。次いで「親族で集まる」19.1%、「自宅近辺で外出する」16.3%。

【今年の年末年始の動向調査】を 20 代以上の男女 602 名に実施したところ、「今年の年末年始をどのように過ごす予定か」の質問に対し回答は、「自宅でゆっくりする」が最多の 69.6%、次いで「親族で集まる」19.1%、「自宅近辺で外出する」16.3%だった。「国内旅行に行く」8.5%、「日帰りリレジャーに出かける」7.3%、「海外旅行に行く」3.5%と、遠出をするような予定は 1 割未満にとどまり、今年の年末年始は自宅やその近辺で過ごす人が多いことがわかった。



②来年 2026 年のお正月は 40.4%がお年玉をあげる予定。

20 代以上の男女 2,405 名を対象にした調査で「来年 2026 年のお正月にお年玉をあげるか」と質問したところ、「あげる」が 40.4%と、2026 年のお正月は 4 割がお年玉をあげる予定であることがわかった。「あげる」人を年代別でみると、最多が「40 代」47.1%、次いで「60 代以上」46.0%と、特に 40 代と 60 代以上が多かった。

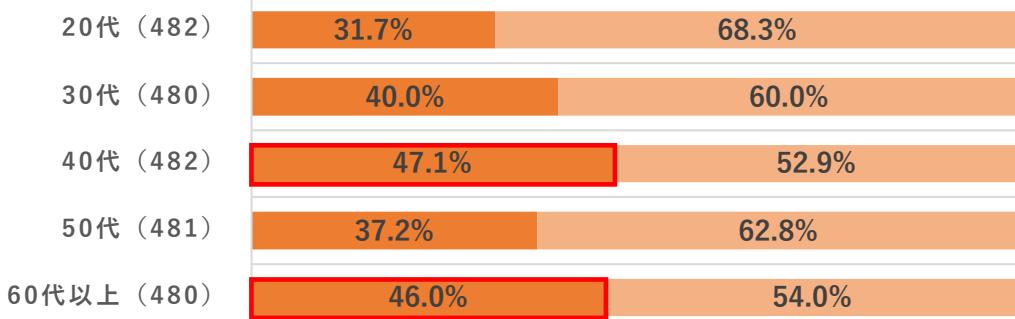


来年2026年のお正月にお年玉をあげますか？ 年代別

※ () 内の数値は各項目のn数

■ あげる ■ あげない

40代・60代以上が多い



③あげる予定の人数は平均3人。あげる相手は「親戚の子ども」「自分の子ども」「孫（ひ孫）」など子どもにあげる割合が高い。あげる金額は1,000円台から4,000円台が主流。

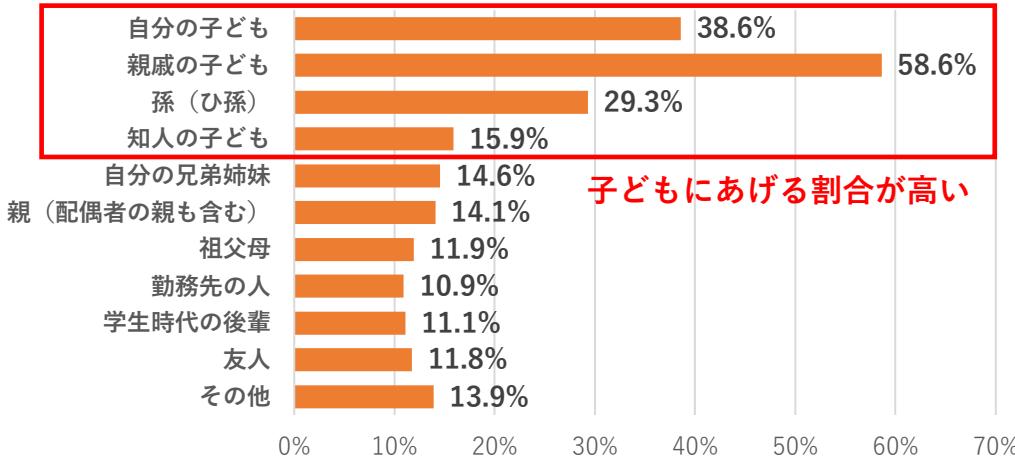
「来年2026年のお正月にお年玉をあげる」と回答したうちの604名に、あげる相手の人数を質問したところ、あげる人数は平均3人であることがわかった。中には23人にあげると回答した60代女性など、2桁台と回答した人も少数ながら存在した。

あげる相手について質問したところ、最多が「親戚の子ども」58.6%、次いで「自分の子ども」38.6%、「孫（ひ孫）」29.3%と、子どもにあげる割合が高かった。

来年2026年のお正月では、お年玉を誰にあげますか？

(n=604、複数回答)

子どもにあげる割合が高い



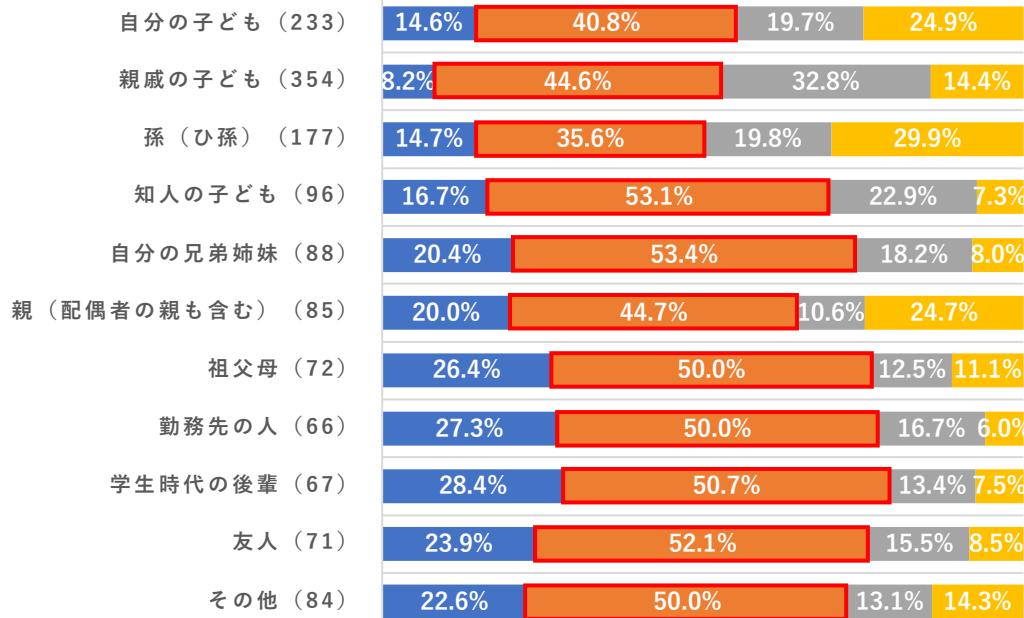
あげる金額は、相手が子どもでも大人でも「1,000円台～4,000円台」が主流だった。「10,000円台～40,000円以上」をあげる相手は、最多が「孫（ひ孫）」29.9%、次いで「自分の子ども」24.9%、「親（配偶者も含む）」24.7%と、血縁関係がある相手に対してあげる金額が高い傾向が明らかとなった。

来年2026年のお正月では、
お年玉を誰にいくらあげますか？

※（）内の数値は各項目のn数（各項目の対象がいる人のみ）

■1,000円未満 ■1,000円台～4,000円台 ■5,000円台～9,000円台 ■10,000円台～40,000円以上

あげる金額は1,000円台～4,000円台が主流

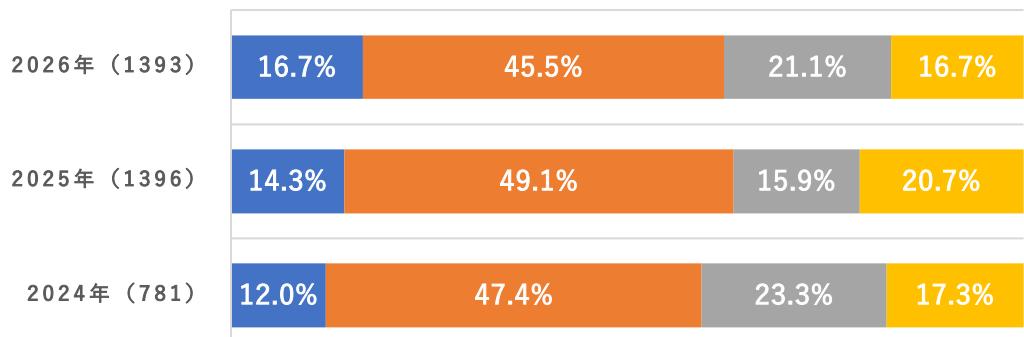


あげる金額の全体平均を昨年11月に実施した「2025年お年玉に関する実態調査」（※1）と比較すると、1,000円未満は16.7%と昨年より2.4%上昇、1,000円台～4,000円台が45.5%と3.6%低下、5,000円台～9,000円台は21.1%と5.2%上昇、10,000円台から40,000円以上が16.7%と4.0%低下。あげる金額は昨年より低下傾向にあることが明らかとなった。

お年玉の金額の全体平均（2024～2026年）

※（）内の数値はn数

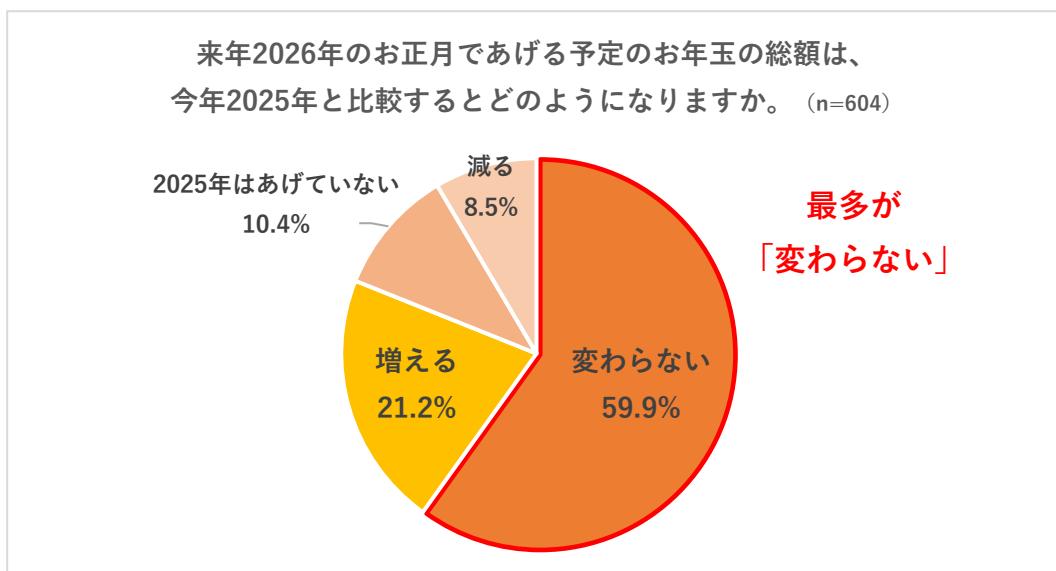
■1,000円未満 ■1,000円台～4,000円台 ■5,000円台～9,000円台 ■10,000円台～40,000円以上



④来年 2026 年にあげる予定のお年玉の総額を今年 2025 年と比較すると「変わらない」が最多の 59.9%。次いで「増える」21.2%。

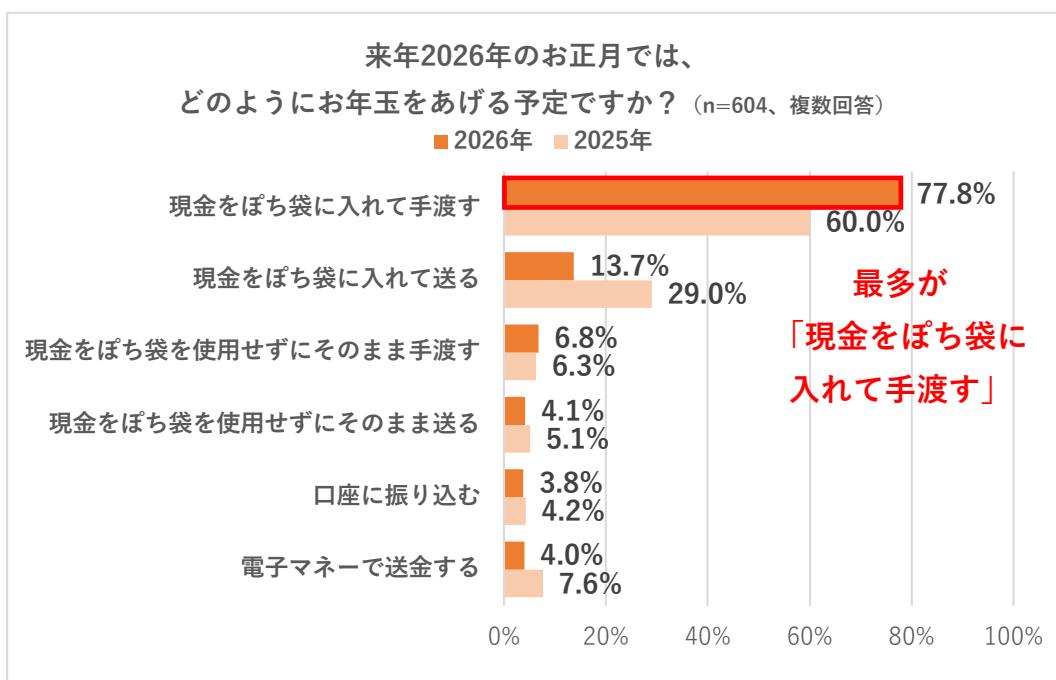
「来年 2026 年にあげる予定のお年玉の総額は、今年 2025 年と比較するとどのようになるか」の質問に対し回答は、「変わらない」が 59.9%と最多で、次いで「増える」が 21.2%だった。「減る」は 8.5%と、1 割未満にとどまった。

「変わらない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「あげる相手の人数に変化がない」「毎年同じ金額をあげている」という理由が多く挙がった。また中には「不景気だから(40代／女性)」「増やす余裕がない(50代／男性)」など、経済状況の厳しさから増額したくてもできないという声もあった。一方、「増える」と回答した人の多くは、「相手の年齢の変化に合わせて金額を上げる」という理由だった。ほかにも、「物価が上がって足りないと思うから(40代／女性)」「物価高なので 1 万円程度上がる(40代／男性)」など、物価上昇を踏まえて相手を気遣い増額するケースも少數ながら見受けられた。



⑤お年玉の渡し方は「現金をぽち袋に入れて手渡す」が最多の 77.8%。

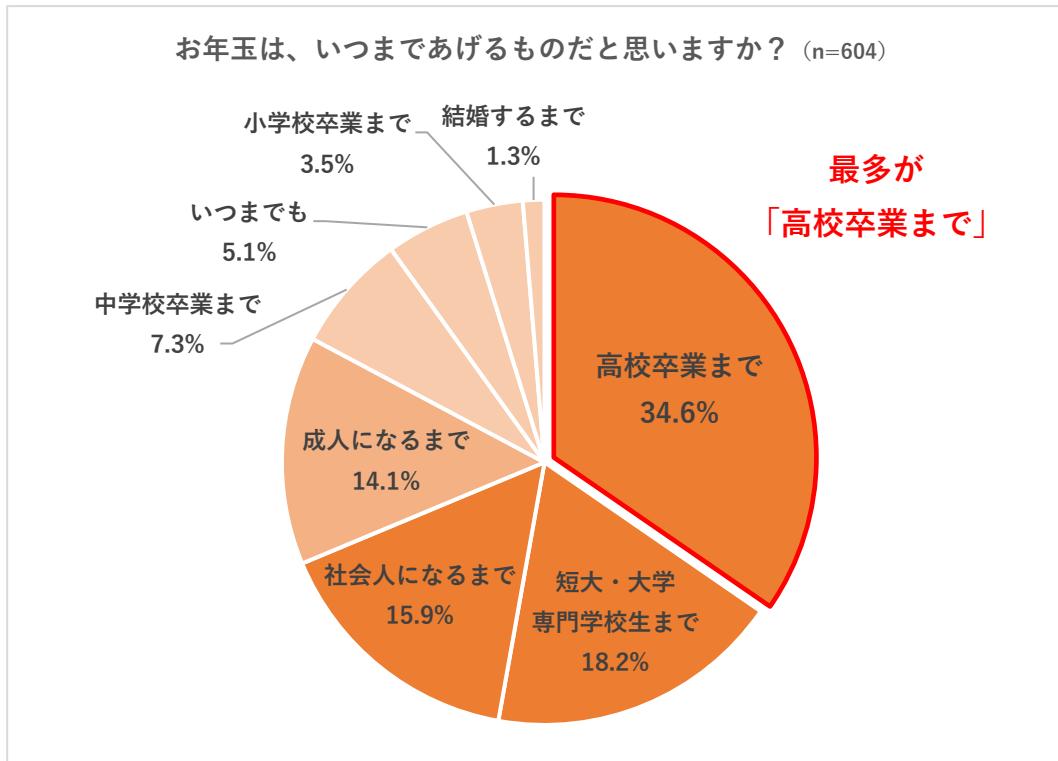
「来年 2025 年のお正月では、どのようにお年玉をあげる予定か」の質問に対し回答は、「現金をぽち袋に入れて手渡す」が 77.8%と最多だった。現金以外の方法は「電子マネーで送金する」4.0%、「口座に振り込む」3.8%と 1 割未満にとどまり、お年玉のやりとりでは依然として現金が主流であることがわかった。



⑥お年玉をあげるのは「高校卒業まで」が最多の 34.6%。

「お年玉は、いつまであげるものだと思うか」と質問すると、「高校卒業まで」が 34.6%と最も多く、次いで「短大・大学・専門学校生まで」18.2%、「社会人になるまで」15.9%だった。

昨年の調査結果では、「成人になるまで」16.4%、「社会人になるまで」12.5%と、成人を一区切りと考える人が多い傾向にあったが、今年は「社会人になるまで」とする回答が増え、意識にやや変化が見られた。



【考察】

調査結果から、来年 2026 年のお正月もお年玉のやりとりが楽しまれることができました。キャッシュレス決済が普及する今でも、お年玉は現金をぽち袋に入れて手渡すスタイルが多数を占めていたことから、お年玉は金銭の受け渡しにとどまらず、人と人が直接つながるコミュニケーションとして親しまれていることがうかがえます。また、物価高による家計の圧迫が続く中でも、お年玉の金額を昨年から減らす人は少なく、相手の喜びや楽しみを大切にする気持ちが表れている結果となりました。

当社はこれまで、祝儀袋やのし紙、お年玉袋といった紙製品を通じて、人と人のこころをつなぐお手伝いをしてきました。これからも、日本ならではの文化や思いやりのかたちを大切にしながら、現代の暮らしに寄り添うコミュニケーションアイテムを提供していきます。

【調査概要】

調査名：2026 年お年玉に関する実態調査

対象条件：全国 20 代～60 代以上の男女

調査期間：2025 年 11 月 25 日～11 月 26 日

調査方法：インターネットを利用したアンケート調査

有効回答数：604 名

(全国の 20 代以上の男女 2,405 名に事前調査を実施。「来年 2026 年のお正月にお年玉をあげる」と回答したうちの 604 名に「2026 年お年玉に関する実態調査」を実施。)

調査名：今年の年末年始の動向調査

対象条件：全国 20 代～60 代以上の男女

調査期間：2025 年 11 月 21 日～11 月 22 日

調査方法：インターネットを利用したアンケート調査

有効回答数：602名

※1：2025年お年玉に関する実態調査（2024年12月13日）

<https://maruai.co.jp/news/p7789/>

マルアイについて

1888(明治21)年創業。山梨県市川大門に本社を構え、祝儀袋や事務用封筒などの日用紙製品と、食品や精密機器を保護するための産業用包材を製造・販売しています。中でも祝儀袋・不祝儀袋は合わせて約500種類以上を展開し、業界で高いシェアを占めています。「こころ くらし 包む」をモットーに、みなさまの暮らしを豊かにする製品を提供しています。

社名：株式会社マルアイ

代表：村松道哉

本社所在地：山梨県西八代郡市川三郷町市川大門
2603番地

設立：昭和22年5月30日

HP：<https://maruai.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルアイ 広告宣伝課

E-MAIL：pr@maruai.co.jp TEL：070-7416-9987